

ABOUT PRISON WRITERS

プリズンライタースとは

「過去を語ることで、未来の生き方を考える」
犯罪と、犯罪についての捉え方は、その人の個人史に根がある。
過去を振り返り、かつての自分を思い出す。
これからの生き方を模索する。
心情を綴り、その存在を知らせる試み。

ほんにかえるプロジェクトには多くの受刑者からお手紙をいただいています。

手紙の中ではご自身の生い立ちを書く方もいれば、今受けている理不尽な扱いについて書く人もいます。
社会との接点が断たれた受刑者にとってほんにかえるプロジェクトは心情を吐露できる貴重な存在になっています。

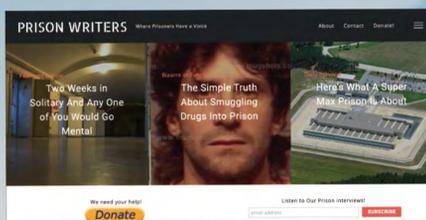
この度、「プリズン・ライタース」コーナーを設け、ホームページ及びYouTube等のネット上で受刑者からの投稿を公開していきたいと考えています。

ほんにかえるプロジェクト事務局長 汪楠

ABOUT PRISON WRITERS US

獄中からシャバへ。暴かれる内事情、米国の囚人たちが彼らの実体験をシェアするプラットフォーム「PRISON WRITERS (プリズン・ライタース)」がある。
書き手は全員、獄中の囚人。外界からもっとも遮断された社会の一角から、彼らはシャバに向けてリアルに語る。
「暑すぎて囚人死す？」囚人によって暴露される内事情、看守によって水・氷が配られるのだが、いじめや嫌がらせ、権力のある囚人に奪われたり誰かが買い占めたり、丸1日水にありつけない囚人も少なくないという。
刑務所運営側はこの状況を例年知っていながら問題視すらしてこなかった。こういった刑務所のシステム上の問題や内事情の様々が、日常的に明るみに出ている。
暴露するのは囚人たち、立ち上げ人は、CBS News、CNNで犯罪・刑務所ドキュメンタリー番組を手がけてきたテレビジャーナリスト、Loen Kelley (ローン・ケリー)。
執筆を志願する囚人がプリズン・ライタース宛にストーリーを投稿、採用されればオンラインで公開される。
編集者といっても、文字校正や刑務所用語をわかりやすく直す程度で大幅な書き換えは一切なし。
インターネット上での共有という即時性に反映される囚人のリアルな声にこだわった。米国の獄中生活が、囚人の手によってあらわになっていく。

この企画はアメリカの試みを参考にしました。
主催者から「プリズンライタース・ジャパン」と名乗る許可をいただいています。



<https://prisonwriters.com/>

What to write about

① 何を書いたら良いのか？

投稿内容に制限はありません。心に残ったできごと。刑務所ならではのトピック。ごく日常的なものでも構いません。本の感想・詩・俳句等も受け付けます。

かえるPJとしては次のようなテーマも提案したいと考えています。

- ① 過去の自分を捉え直す：なぜ犯罪に至ったか？
意思とは何か？環境がそうさせたのか？
- ② 今の自分を客観的にとらえる：社会に対しての敵意は残っているか？
家族に対してどう思っているか？事件に対していまはどう考えているか？
- ③ 出所後について：生きがいはあるか？
仕事をどう選択するか？
- ④ 更生とは何か：居住、生活、就職などの順応、
時間・金銭・健康をどう管理するか？
- ⑤ 社会からの孤立をどう防ぐか：友達、交際相手をどう作るか？
- ⑥ 自分を救うものは何か：セフティーネットとして行政、
市民団体、宗教ないし信仰心、家族友人知人のあり方。

PRISON WRITERS

プリズンライタース



ほんにかえるプロジェクト
PRISON WRITERS IN JAPAN



How to apply



② 原稿の応募と掲載に関して

- ※ 原稿にはタイトルを付けてください。
- ※ 原稿の応募回数に制限はありません。何回でも投稿してください。
- ※ 原稿は原本の一部または全文の写真を掲載し、見やすいように活字テキストを加えます。

筆跡から本人が特定されることを危惧される方は、活字のみで掲載しますので、ご希望をお知らせください。

※受刑者からの手紙については本人の希望が無い限り匿名とします。
個人を特定するため、会員番号を掲載します。

③ 原稿の掲載の選考について

ご応募いただいた原稿は複数のスタッフが読んで、採用を決定します。
結果は後日お知らせいたします。

The reader and you

④ 原稿代について

採用した原稿の投稿者には、かえるPJから原稿料として¥500を個人の預かり金に加算する方法で支払います。

⑤ 一般の方からの寄付について

採用され公開した原稿には、寄付のボタンを付け投稿者個人への寄付を募ります。

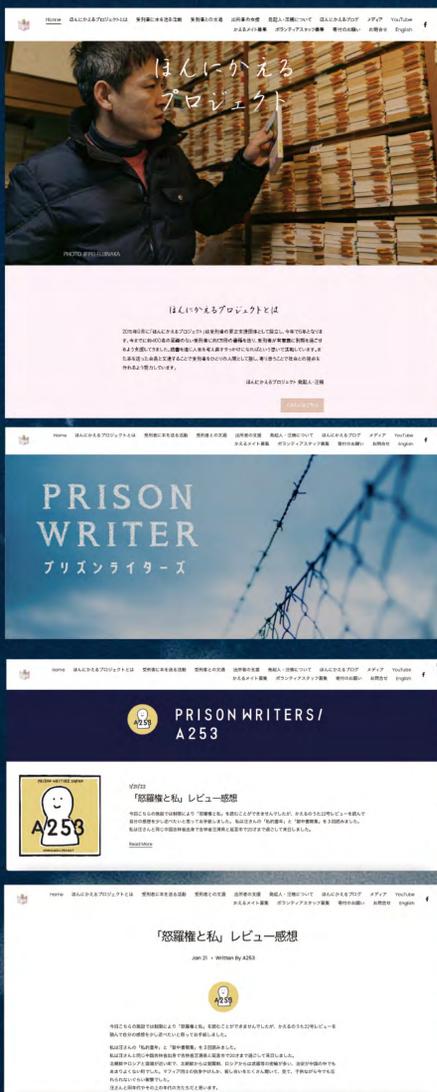
受け付けた寄付は、預かり金への加算、または現金書留でお送りしますが、その場合現金書留送料、封筒代は本人の負担となりますのでご了承ください。

⑥ 一般の方からのコメントについて

閲覧者からのコメントは、プリントアウトして本人にお知らせいたします。
コメントに対する返信コメントも掲載可能です。

How we share your story

原稿は「ほんにかえるプロジェクト」のホームページ「プリズンライターズ」のページにて定期的に公開します。
また採用した原稿、採用できなかった原稿も会報「かえるのうた」Facebook・YouTube等で紹介することがあります。



「ほんにかえるプロジェクト」のホームページです。2021年5月に公開され延べ1万2千人を超える方が閲覧してくださいました。(2022年1月現在)

※ HPは下記の内容で構成されています。
Home・ほんにかえるプロジェクトとは・受刑者に本を送る活動・受刑者との文通・プリズンライターズ・出所者の支援・発起人汪楠について・ほんにかえるブログ・メディア・YouTube・かえるメイト募集・ボランティアスタッフ募集・寄付のお願い・お問合せ・English

こちらホームページ内の「プリズンライターズ」のページになります。

原稿が掲載される各会員の方のページを作成し、掲載された原稿が一覧で見られます。

こちら掲載された原稿のページになります。ページの巻末に、コメント記入欄や、寄付のボタンが設置されています。



「ほんにかえるプロジェクト」のFacebook(左)と、YouTubeチャンネル(右)のページです。
原稿の公開お知らせは、Facebookと下記Instagramに掲載していきます。

YouTubeでは不定期に「プリズンライター」の原稿を動画にて紹介する予定です。



「ほんにかえるプロジェクト」のInstagramにて、プリズンライターの原稿の公開を紹介します。各会員ナンバー(希望者は本名)と1人ずつ色目を変えた画像と、タイトルをアップしていきます。

原稿の送り先は下記へ



〒134-0003 東京都江戸川区春江町 5-15-31
ほんにかえるプロジェクト事務局
「プリズンライター原稿在中」と表記してください。
(汪楠・庄子宛の手紙に同封することも可)



ほんにかえるプロジェクト
PRISON WRITERS IN JAPAN
mail info@honnikaeru.com
https://www.honnikaeru.com/



GO TO PRISON WRITERS